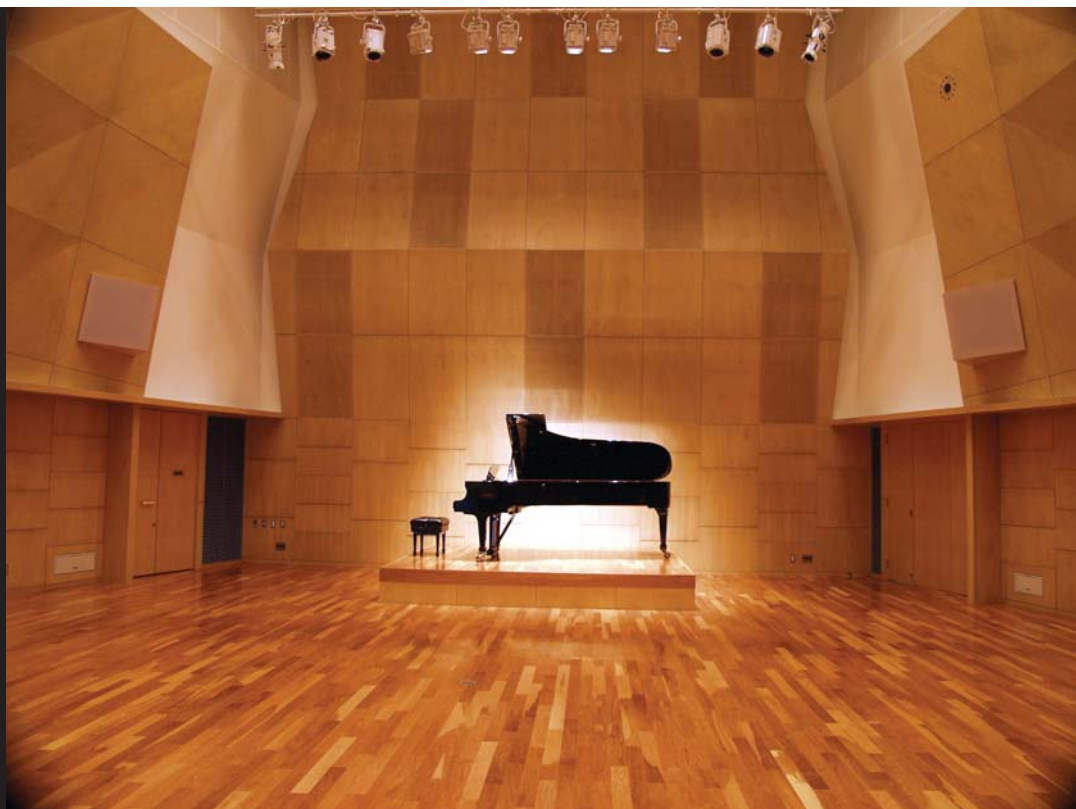


コア・ホールの音楽 文化活動に助成金



コア研（コミュニティ・コア研究会、代表：下川正晴さん）は9月18日、松戸市の「土屋文化振興財団」からの助成金（1,000,000 円 !!）交付決定を発表した。同研究会では昨年来コア・ホールにイタリア製のフルコンサート・ピアノ「ファッツィオリ」を市民の力で導入するためコンサートや募金活動を行ってきたが、今回の助成はこの活動を中心としたベイタウンの音楽文化活動に対してのものだ。喜びにわくコア研周辺取材した。【松村】

「BIG NEWS です。土屋文化振興財団より 100 万円の助成金交付が決定しました !!」。9/18 日深夜、コア研代表下川氏の興奮したメールがベイタウン内を駆けめぐった。今回の助成は、ピアノ「ファッツィオリ」購入とベイタウンの音楽文化育成を目的として、6 月にコア研が申請していたもの。この助成で計画当初は夢かとも思われたファッツィオリを備えた音楽ホールを核とするベイタウンの文化活動が現実のものとなってきた。

「今回の助成金交付でピアノ購入は資金面で大きく前進しました。しかし、それ以上に重要なのは、これまでベイタウン住民が自己満足で行っていた活動を、社会が評価し始めたことです」と助成決定の意義を下川氏は強調する。

実際、「コアにファッツィオリを」の声が契機になって活発化したベイタウンの音楽活動は、「ベイタウン音楽愛好会」（会長：大垣真利子さん）をはじめ様々な音楽グループをベイタウンに生みだし、これらのグループが協力して一流の演奏者のコンサートを定期的に市民の力で開催できるまでに育った。助成決定直後の9月22日に開催された「藤原真理チェロコンサート」も、これら音楽グループメンバーの運営で行われた。事前の会場設営から当日の運営、撤収まですべてが市民ボランティアの手によるコンサートだ。コアの開館とファッツィオリの導入で始まった音楽活動は、新しいベイタウン文化のはじまりを予感させてくれる。

コア研では今回の助成金交付決定をうけて、「今後の計画」「組織体制」などについて下記予定で公開の協議会をおこなうことになっている。

コア研協議会：10月5日（土曜）午後1時～、コア講習室にて。
問い合わせ：コミュニティ・コア研究会（TEL 211-0472 下川）まで



▶演奏会後はサインを求めるファンでコア・アトリウムは埋められた。
▲鬼気迫るほどの集中力を感じさせる藤原真理さんの演奏。
9/22の「藤原真理チェロコンサート」は助成決定の知らせを聞いて駆けつけた観客を含め、予定した190席すべてが満席だった。

9月9日午後7時から9時すぎまで幕張テクノガーデンの企業庁分室で千葉県企業庁と自治会連合会の定例会議が開かれた。まず民間住宅事業者が「幕張ベイトウン PR コミッション」の活動への協力を依頼したのに続いて、連合会側が「路上駐車問題」への取り組みや街路樹の管理に対する要望を伝えた。企業庁側は民間住宅事業者やPR活動を担当する広告代理店担当者を含めて13人が、連合会側は伊藤会長ほか7人が出席した。 【茂木】

企業庁・連合会定例会議傍聴記 その2

<幕張ベイトウン PR コミッション>

これは、ベイトウンの認知度を高めることで街の発展やブランド力の強化を図るねらいで、企業庁、民間住宅事業者、都市基盤整備公団、千葉県住宅供給公社、広告代理店の読売広告社と創芸で構成するもの。マスコミの取材誘致・対応、テレビドラマの制作協力やロケ先としての誘致などを通じて、マスコミへのベイトウンの露出度を高めていく。すでにパティオス2番街に窓口を置いて活動している。

具体的に協力依頼のあったのは、翌日10日にシータワーで予定されていたドラマの撮影に対してと、11～12月にベイトウンでのロケが想定されているドラマの撮影に対して。翌日に控えていた撮影に対して連合会側は、シータワーの管理組合に説明済みとの事情を踏まえて、「住民に迷惑にならない範囲でやってもらわないかい」「これまでと同じく、夜6時か7時には終わらせるように」と返答した。詳細の固まっていない後者は「保留」にした。

<「路上駐車問題」への取り組み①>

このテーマに関してはまず、連合会側が企業庁側に期待することを二つあげた。ひとつは、幕張ベイトウン・コアの脇にある駐車場を分散配置する方向で計画中の公共駐車場を、いつ、どういう形で整備するのか、という点。もう一つは、マンション内にハイルーフ車やテナント店舗用の駐車スペースを整備するように住宅事業者を指導してほしい、との点だ。そのうえで、『「制限時速30キロ・原則駐車禁止」』との方向で住民

合意を図りたい」と明かし、住民の意見は「交通フォーラム」のような場を設けて集約する考えを示した。

<「路上駐車問題」への取り組み②>

オブザーバーとのやり取りの中で企業庁側は、公共駐車場の整備予算を来年度予算要求に盛り込まない方針を明らかにした。公共駐車場を含む公益施設に関して、どこに、なにを整備していくか、千葉市との協議が整っていないのが理由。企業庁は2000年6月に開いた「幕張新都心住宅地（ベイトウン）事業の変更にかかわる説明会」の場で、整備時期は明らかにしなかったものの、ベイトウン内の数カ所に駐車場を分散配置する方針を示していた。

ベイトウンは地域の共同利益を住民に還元する仕組みを想定していた

幕張ベイトウンPRコミッションの説明で配られた資料の中に、雑誌「Memo 男の部屋」9月号の抜きずりがあった。ちらりと見ると、ベイトウンの開発計画に携わる都市プランナー、蓑原敬さんのコメントが掲載されている。「幕張ベイトウンの構想のベースには、そんな理想都市論も意識されています」。

「理想都市論」というのは、英国のエベネザー・ハワードが唱えた「田園都市」と呼ばれる計画思想だ。ロンドン郊外のレッチワースでは第一号が1903年に生まれてもいる。田園都市では開発主体が底地を保有し地代収入を公共施設の建設・維持費用などにあてる。開発主体を企業庁に置き換えれば、「理想都市論も意識」というのもうなずける。

田園都市は、地域の共同利益は住民に還元を、という考え方にも貫かれている。ベイトウンでも計画上は、関係者で「住宅地管理運営機構」を組織して、街区内外の駐車場や、道路・公園などの公共施設、コミュニティ・コア、テナント店舗床といったものを一元管理する考え方を示していた。それを実現できれば、街区外駐車場やコアなどを通じてベイトウン外から得られる収益（＝地域の共同利益）を街の維持管理にあてる（＝住民に還元する）ことができるわけだ。

ベイトウンが住宅地として優れているのは見た目だけではないはず。企業庁や住宅事業者など関係者に計画実現を期待したい。 【茂木】

<街路樹の管理に対する要望>

連合会側は「街路樹の中に支柱が壊れているものがある。安全面・景観面から好ましくないの、早急に対応してほしい」と要望したのに続いて、住民と企業庁・管理受託会社と専門家とで一緒に街を回って街路樹の生育状況を見て認識を共有したい、との希望も伝えた。これに対して企業庁側は、「専門家を交えた検討に関しては来年度予算要求の中で対応する方針」と回答した。

「コミュニティゾーンの導入」

交通委員会の描くみちすじ

9月7日に開かれた「幕張ベイトウン自治会連合会 交通委員会」の会合では、独自の規制を可能にする特定エリア「コミュニティゾーン」の考え方が出された。同委員会の提案した新たなルールは次の2点：

- ① 駐車可能な箇所（道路）を特定し駐車時間は最大1時間とするなど、原則駐車禁止というところから議論を開始する。
- ② 大事故を防ぐためにベイトウン内をゾーンとして速度制限を設ける。

同委員会ではこれをたたき台として、今後フォーラムなど住民参加の場で議論することを考えている。 【金】

MAKUHARI Bay Town CORE	公民館から
	打瀬子育て講座
1 時間ずつ子どもを預け合いながら、学習する講座です。毎週木曜日 / 午前10時～正午（全8回）定員=2歳児と保護者16組	
1	10/17 「親子で遊ぶ」集団コミュニケーション
2	10/24 「ボランティア？」心構えときまり
3	10/31 「心の成長」子どもの発達1
4	11/7 「からだの成長」子どもの発達2
5	11/14 「子どもの安全」子どもを事故から守るには
6	11/21 「子どもの遊び」遊びを通して子どもたちは学ぶ
7	11/28 「子育て助け合い」
8	12/5 「親子で楽しむ人形劇」
房総の太巻きずし～食卓に彩りと変化と伝統を～	
毎週水曜日 / 午前10時～正午（全3回）定員=成人16名 教材費=実費	
1	10/16 「ばら」太巻きの基本
2	10/23 「文銭巻き」
3	10/30 「もも」

ハンドメイドの子供服

～3歳から5歳くらいまでの子供服を作る～

男の子にはシャツ、女の子にはワンピースを作ります。最終日には子供たちに出来上がった服を着てもらいます。原則第2・4木曜日 / 午後2時半～4時半
期間=10月24日～平成15年2月9日（全8回）
定員=女性16名 教材費=実費

以上の申し込み=10月5日から10日までに直接または電話で打瀬公民館まで。TEL.296-5100（抽選あり）

写真は「中高生のための楽しいクッキング講座」。この日はコック・オ・パン（鶏のワイン煮）を作りました。次回は10月26日、中国料理に挑戦！



秋の夜長に最適！

ベイトウクロスワードパズル

ベイトウンニュース初の試み、ベイトウンにちなんだ話題で作ったクロスワードパズルです。家族で、友人どうしで、楽しみながら解いてみて下さい。A～Dを並べると、ある言葉になります。解答が分かった方は、1. 解答、2. 住所、3. 氏名、4. 年齢、5. 性別、6. 連絡先電話番号、7. ベイトウンニュースへのご意見・ご希望などを記入の上、ベイトウン・コアにある、ニュースの投書箱まで投函下さい。抽選により1名の方に、図書券3000円分をプレゼントします！※切は10/14(月)、正解と当選者の発表は次号にて。

【板東】

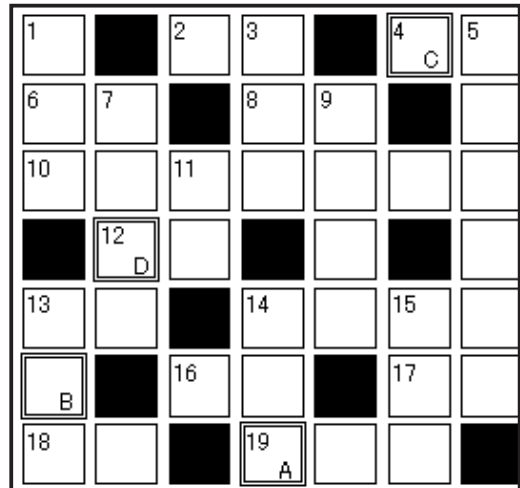
(タテのカギ)

1. JR 京葉線海浜幕張駅の3つ先の駅と言え、チバ○○○
3. メッセで毎年秋に行われていたファッションショーは、「○○○の風」
5. ○○○○○○が美浜区のシンボルカラーだって知ってた？
7. このらせん階段は、○○○○にありますよ(写真1)
9. 秋桜と書くこの花の名前は、○○○○(写真2。海浜小脇の花壇で撮影)
11. 街開きの頃、ここには○○がありましたが、若者がたむろし、ゴミを散らかしたり騒いだりしたため、撤去されてしまいました(写真3)
13. 正式名称は、打瀬1丁目公園、別名○○○ダクトパーク。56号にヒントあり。
14. ご存知サッカーの中田英寿選手が所属するイタリアセリエAのチーム名は○○○
15. 幕張の浜でも良く見かける海辺の鳥○○○

(ヨコのカギ)

2. ベイトウン○○の敷地内には、こんなモザイクがあります(写真4)

4. ベイトウンから一番近い海辺は、幕張の○○○
6. 海で遊ぶときは、高○○に気を付けましょう
8. ベイトウン自治会連合会の交通委員会が路上駐車に目を光らせているのは、○○○を避けるためです。ごくろうさまです
10. 毎年秋にベイトウンにアスリート達が集う、○○○○○○○○大会。今年は、10月6日(日)に開催されます
12. ○○が打瀬小学校の中庭で飼われています。ご存知でしたか？
13. ベイトウンニュースのイメージカラーは、海と空から取った○○色です
14. 大気や液体など流体の圧力の研究をしたフランス人科学者○○○○。気圧をヘクト○○○○って言うよね
16. 幕張新都心は昼も良いですが、○○も光がきれいです
17. 牛の鳴き声と言えば、○○ですよ
18. 読書の○○、運動の○○、食欲の○○
19. ベイトウンには、○○○な人が多い？ 真剣な態度・顔付きのこと



▲写真1



▲写真2

▼写真4



▼写真3



敬老会で保育園児が和太鼓を披露

9月14日午後3時すぎ、幕張ベイトウン・コアのホールで和太鼓が鳴り響いた。たたいたのは、打瀬保育園に通う5歳児14人と担任の保育士、それに、指導にあたってきた和太鼓奏者の荒川正輝さん。自治会連合会主催の敬老会に列席した70人ほどを前に、沖縄民謡の「走楽(らん)」を演奏した。週1回1時間ほどの練習を重ねてきた成果を人前で披露するのは、このときがはじめて。「ヤーッ」と威勢よくも可愛らしい掛け声も入る演奏は喝采を浴び、アンコールがかかるほどだった。

【茂木】



空手の小さな達人たち大集合！

海浜打瀬小学校で9月14日(土)、「第一回打瀬地区空手道大会」が、打瀬・打瀬南・海浜打瀬の3つの道場が初めて集まって行われました。礼和流「柳心館」は、パティオスがまだ1～6番街までしかない頃から打瀬小で活動を始め、生徒数10名余からスタート。現在では3道場で150名ほどの会員がいます。

「近頃の子どもたちは競争心があまり見受けられないと言われますが、空手は白、水色、黄色…黒帯まで段階があるので、早く上の色の帯になりたいと驚くほど一生懸命練習しますね。」と打瀬支部長の野田さん(3番街)。

「子どもに付いて始めた私のほうが今ではまっていますね。週1回、汗を一杯かいて体を動かすのが気持ちよくて。ストレス解消にもなりますし(笑)、奥さんたちも熱心ですよ」12番街の鳥谷さんは空手の魅力をこう語ります。

10月に行われる礼和流の全国大会(800名が参加)を前に、今回は大会の雰囲気になれず普段の力を発揮できるようにと、緊張感を感じてもらおうのがねらいだとか。厳しいだけでなく、子どもたちのいいところを見つけて励ましていた先生たちのあたたかいまなざしが印象的でした。

【佐藤】

夏の総合体育大会 打瀬中学校の健闘

前号でもお伝えしましたが、打瀬中学校が夏の総合体育大会で本年めざましい活躍をしました。今号では特にすばらしい結果を残した水泳部（関東大会出場）、陸上部（全国大会出場）について、子どもたちからのメッセージを掲載します。【打瀬中学校寄稿】

陸上部 田岡春菜

関東大会入賞、全国大会出場。けがが多かった私がここまで来られたのは、仲間、先生、両親の支えがあったからです。「陸上は個人競技ではなくチームで闘うもの」という顧問の先生の言葉が今になってよくわかりました。今後は、陸上にかけてきた力を、受験という新たな道で発揮していきます。今までありがとうございました。

水泳部 市岡揚一郎

8月10日、関東中学校水泳競技大会がありました。この大きな大会に、今まで打瀬中学校の水泳部は行ったことがありませんでした。しかし、今回これに2種目（200M自由形 菅沼克俊／400Mメドレーリレー 塩崎隼大・菅沼克俊・石井祐典・岩瀬正翔・宮城島庸平・市岡揚一郎）も出られることになりました。しかも400Mメドレーリレーは決勝まで行けました。卒業前にこのような良い思い出を作ることができ、嬉しかったです。応援してください、ありがとうございました。

富士山の頂上に夕日が沈むのはいつでしょう？

ベイトウンのあちこちから富士山が見えます。また、自分のお部屋から見ることでできる方もおありでしょう。

ベイトウンから見る富士山はおおよそ西南西13度です。理科年表によると10月22日ごろにこの方角に太陽が沈みます。天気にも恵まれれば富士山の頂上に沈む夕日を見ることができるでしょう。富士山の見える場所を探しておいて、10月20日頃から気をつけておいてください。時間は午後5時少し前かと思われます。

今年の春の夕日は、2月18日だったようですが、当日曇って

いて見ることはできませんでした。翌日19日には富士山の右肩をかすめて沈んでいきました。

さて、この秋の夕日はどうでしょう。好天に恵まれることを祈りながら。お楽しみに。【ベイトウン在住 Kさん】

■かなり個人的なことですが、大好きな寺尾関が引退することになり、秋の寂しさが一段と身にしみる今日この頃です。動きが鈍く闘志が表に出ない力士の多かった当時（10年くらい前）にあって、鋭い出足と突っ張りを武器に、巨漢力士を翻弄して倒す寺尾の姿は相撲の面白さそのものでした。「ああ、髭のない寺尾なんて…きっと素敵だろう！」とやはり最後はミーハーに走る私でした。ところで、幕張本郷駅の近くに相撲部屋があるのをご存じですか？

佐藤則子（#3-310/T&F211-0090）

■犬の散歩に出た。家から逃げ出したどこかの犬がいきなり歯をむいてきたので、追い払おうと気を取られたすきに、図体はでかいが臆病な弊宅の犬が逃げ出した。ベイトウンの端から息を喘がせ追いかけてながら、知り合いに出会ってもろくにあいさつもできないまま、もつれる足で必死に走りつづけたら、幸いにも我が家の犬は車にも轢かれず家の前にたどり着きうろうろしていた。本日の散歩は打ち切りと、二人でげんげえ、よたよた家に続く階段を上りながら考えたことは、プロムナードは見た目以上に距離があったことと、石畳の上の走りにくかったこと。その日の散歩は5分で終わってしまった。

金一剛（#3-220/T&F211-0388/ikim@cc.e-mansion.com）

■マンションや建売住宅地の広告チラシを集めています。どんなのを集めているかというと、ライフスタイルを具体的に描いているものです。時代の移り変わりの中で「理想のライフスタイル」がどう変わってきたのかを見たいなあと。でも、そういうのは案外少ない。新聞折り込みに入ってくる地域で「暮らし」を前面に出しているのは、ベイトウンと新浦安くらいでしょうか。多くはいきなりドカンと外観パースで、立地と設備と価格とを売り物にするくらい。ま、予算の制約もあるんでしょうね。

茂木俊輔（#7-305/T&F211-1066/m38032@pp.ij4u.or.jp）

■投書の「ベイトウンの夕日」を読んで、（そう言えば、ミラリオに住んでいた時、部屋に入る冬の朝日のグラデーションもきれいだっただな）と思い出し、あらためてベイトウンの空を見上げてしまいました。秋は夕暮れ、冬はつとめて。これからも空のきれいな季節が続きます。時々、見上げてリフレッシュを。

浜田貴代子（公園東 atmark@pop01.odn.ne.jp）

■今回、生まれて初めてクロスワードパズルを作ってみました。いろいろネタ（ワードや写真）は用意していたのですが、いざ作ってみるとけっこう難しい。皆さんも、ベイトウンにちなんだクロスワード作りに挑戦し、良い作品ができれば、編集局まで送って下さい。板東司（#1-210/T&F211-0289/tbando@dp.u-netsurf.ne.jp）

■どういう訳か歴史にハマリ、とうとう他地域の公民館の歴史散歩講座に参加してしまった。今回参加したのは稲毛公民館の講座。稲毛の歴史を訪ねての発見も多かったが、なによりの収穫は「巨木」だった。稲毛の裏道で巨大なイチョウの木を一本。他に小中台でもスタジカと思われる大木を見つけた。前に書いた畑川（検見川）の子安神社の大木（樹種は不明）とあわせて3本。昔住んだ船橋でも巨大なイチョウがあり、これで近隣に4本の巨木を見つけたことになる。少し古い木なら他にもあるが、これらの4本は中でも際だっており、異様な凄みさえ感じられる。いずれ写真をとも思うのだが、カメラを持って向き合う自信はまだない。

松村守康（#10-612/T&F211-6853/mmatz@m2.pbc.ne.jp）

まち自慢＝汐留地区「汐留シオサイト（SIO-SITE）」

東京都港区に位置する汐留地区は、古くは鉄道発祥の地として名を馳せており、東京都施行の土地区画整理事業により新たな都心として生まれ変わろうとしています。街路やデッキなど、従来、官主導で進められてきた環境インフラの整備を官民共同で進めている点も特徴のひとつです。まだ目にすることはできませんが、地区内には緑が多く、例えば街路整備では一般的な街路に比べて緑視率が4割ほど高くなるそうです。

JR線の西側（図の左側）においては既成市街地の共同ビルが促進される中で、建物や街並みのデザイン、店舗構成においてイタリアを共通のテーマとした新しい街がつけられます。一方、東側においては、業務・商業・文化・居住など多機能な施設の導入により新たな複合都市が誕生しつつあります（こちらは少し、幕張新都心と似ています）。その中で公団は旧国鉄清算事業団から取得したH街区と呼ばれる約1.1haの土地に平成16年3月の入居を目指し、地上56階建ての賃貸住宅（940戸）を現在建設中です。銀座、丸の内、臨海副都心に隣接する恵まれた立地条件に加えて、季節により美しい花が咲く浜離宮恩賜公園やウオーターフロントといった憩いの空間も充実しており、緑豊かな潤いのある都心居住を実現できる地区とすべく、公団はここにも全力をあげて取り組んでおり、今後ますます注目を集めていくことでしょう。



賃貸住宅のお問い合わせは
総合募集センター津田沼案内所
TEL：047-478-3711

公団住宅の駐車場のお問い合わせは
日本総合住生活（株）千葉支店

都市公団

街区対抗綱引き大会は、お天気が心配されるなか9月22日（日）にベイトウンコア横の広場で行われました。しかし、当日は3連休の中日でもあり、PR不足ということもあって、出場チームは残念ながら4チーム。ディフェンディングチャンピオン公園東の街、首位奪回をはかる5番街、そして今回初出場のセントラルパークイースト、21番街。出場チームは少ないながら白熱した綱の引き合いが繰り広げられ、21番街チームが堂々の優勝に輝きました。「マダムの会」や「おやじ会」を結成しチームワークに定評のあった21番街チームに優勝の弁をうかがいました。

「うちの番街はお酒を飲んで集まるのが好きなノリのいい連中が多いんです。綱引き大会のメンバーはメールで募ったのですが、当日の朝の電話で駆けつけた人もいます。それもお酒を飲まないかと誘われて（笑）2戦目の5番街との一戦はきつかったですね。長期戦になって、もうあきらめようと思ったのが一瞬こちらのほうが遅かったのが勝因です。これから賞品を山分けして、オープンデッキで祝杯をあげるつもりです」（21番街脇山さん談）

賞品はホテルのディナー券やランチ券、シネプレックスの招待券など豪華賞品。いい汗をかけさらに賞品もゲットできる！今回参加しなかった街区の皆さん、来年はぜひ参加してみませんか。

【佐藤】

街区対抗綱引き大会は 21 番街が優勝！



「今回から綱引き大会が、ベイトウンまつりの規模が大きくなり、主催者側の都合で同日開催が難しくなったため、分離開催されました。いやー、企画のミスです。第5回めにして最低の4チームのみの参加。しかし、新しい街区の勢いはさすがです。大会の次回にご期待ください。」（主催者代表 佐藤総一さん）



こども・まち・がっこう シリーズ Vol.6

中庭たんぼでコメづくり

「打瀬の子どもたちにドロの感触を」 海浜打瀬小学校5年生がつくる校舎中庭の「田んぼ（水田）」学習は、先生方のそんな熱い思いからはじまった。ベイトウンのように整備された街に育つ子どもたちには土やドロに触れる経験が少ない。そんな子どもたちにも昔自分たちが育った日本の農村の「原風景」を少しでも感じてもらいたい。これは5年生のイネづくりを指導する斉藤和範先生をはじめ、海浜打瀬小学校の先生方の強い願いだった。

最近、ほとんどの小学校でコメづくりの授業をやっている。通常は理科教育の一環としてイネの生育を観察したり、田植えや稲刈りを体験するということが中心だが、「ドロの感触を」と主張するところに斉藤先生の意気込みがある。そのため、土台となる水田づくりも子どもたちと一緒に自分たちで校庭に穴を掘ることからはじめた。深く深く。できあがった10m²程のタンボは5年生の子どもたちの足がすっぽりと入るほどの深さだ。浅くてはイネがしっかりと根を張らないそうだ。

苗作りも自分たちでモミを発芽させることからやった。広さの関係から苗代づくりこそできなかったが、中庭のタンボでは代掻きもやった。夏休みにも交代で水の管理をし、本物の農家のようにみんなで愛情をかけてそだててきた。その甲斐あってか稲は立派に育ち、この取材をした9/20には素人目にはすぐにも刈り取れるほどの出来だ。

子どもたちは早く稲刈りをやりたくて仕方がない。休み時間にイネにさわっては「先生まだー？」と盛んにせつづく。しかし斉藤先生は考える。「コメ作りはそう簡単ではない。『待つ』ということもしっかりと教えなければ・・・」。そこで子どもたちと一緒にタンボに出てはイネに触らせ。稲穂をつぶしては「どうだ、まだ実がしっかりと入っ

ていないだろう？ こんなお米は食べたくないだろう？」と言っては待たせる。この分では刈り入れは10月中旬だろうか。

コメづくりは稲刈りが済んでも終わらない。昔の人は残った藁（ワラ）まで利用し尽くした。稲刈りが終われば、「はざ木」を中庭に組んでイネを干し、藁も、籾殻も、コメヌカも全部「しゃぶりつくしたい」。それが斉藤先生の描く学習の総仕上げプランだ。先人の智慧と苦労を身をもって体験させたい。

だが、子どもたちの描く夢は少しちがう。「作ったのはコシヒカリだけど、アキタコマチとも食べ比べたいなあ」「いや、海外から輸入されるお米と食べ比べて社会科の勉強にしよう」と様々な意見が出る。「米作りは総合的な学習のひとつだ。子どもたちが自分で苦労してつくったお米をどうしたいか。それを議論しあって、自分たちで決めることができれば、それがこの学習の大きな成果かもしれない・・・」。斉藤先生は悩む。

【松村】



あなたを輝かせる働き方があります

ベイトウンに住みながら

新都心のオフィスで経験を活かしたお仕事が



抜井 佳代さん（ベイトウン在住）

ベイトウンに住みながら幕張新都心のオフィスで働くことができて助かっています。通勤時間もかからないのでプライベートの時間も十分確保できます。社会保険等各種保険も完備しているので安心でした。

登録説明会を随時開催しています

月～金 9:30、13:30、15:30 のいずれかの時間をお電話にてご予約の上、お越しください。無料 OA 講座、スキルに合わせた研修コース、通信教育講座割引制度など充実しています。



世界最大の総合人材サービス企業

アデコキャリアスタッフ株式会社 幕張支社



〒261-7117 千葉県千葉市美浜区中瀬 2-6
ワールドビジネスガーデン マリブイースト 17F
＜派遣業（般）12-01-0042＞
TEL:043-297-7651（受付担当：斉藤・大出）
<http://www.AdeccoCareer.co.jp/>
saitoh@adeccocareer.co.jp（受付専用メール）